

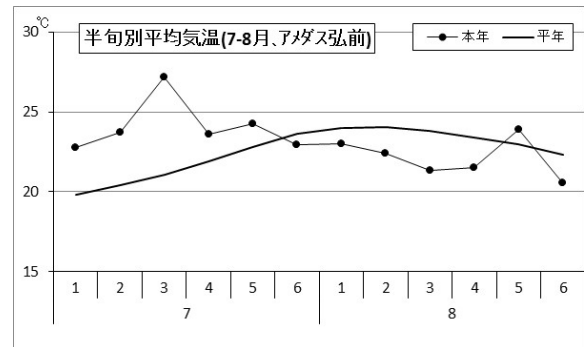
農作物の生育状況（9月1日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

1 気象

8月1～31日の平均気温は平年に比べ1.3℃低かった。降水量は平年比78%、日照時間は平年比85%となった。

8月22日と24日に大雨警報が出されたが、被害はなかった。



2 水稲

出穂最盛期は平年並の8月5日となった。開花時の低温の影響は軽微である。刈取りは「青天の霹靂」が9月11日頃、「つがるロマン」は9月15日頃から始まる見込み。

国が発表した8月15日現在の作柄概況予測で、津軽は「平年並み」であった。

3 大豆

開花期は平年並で着莢もよく、生育は順調である。

4 りんご

弘前市独狐のふじの肥大(横径)は8.0cmで平年(7.5cm)を上回っている。つがるの収穫が始まった。

5 ぶどう(スチューベン)

着色日は平年(8月27日)より7日早い8月20日で、生育は良好である。

6 もも(川中島白桃)

平川市新館の肥大(横径)は8.8cmで平年(8.0cm)を上回っている。収穫は8月30日から始まった。

7 トマト

主力の5月上旬定植では、14～15段開花期、9段収穫となっており、生育は概ね順調である。

8 高冷地野菜

だいこん(5月下旬は種)の生育は3日程度早まっており、収穫時期となっている。収穫作業は順調で、収量も例年に比べ多めとなっている。

秋にんじんの生育は平年並みである。

スイートコーンの収穫は、平年より5日早い8月5日頃から始まった。8月中旬以降は低温の影響により収穫が例年より3～5日程度遅れている。

9 花き

秋ギクの生育は概ね順調である。

トルコギキョウ(6月定植作型)の収穫は、例年より5日程度早い8月20日頃から始まった。